

本町駅(地下鉄御堂筋線・四つ橋線・中央線)② 幻の大坂遷都論ゆかりの北御堂へ

淀屋橋駅(地下鉄御堂筋線・京阪本線) 大江橋駅(京阪中之島線)

「大阪あそ歩マップ集」
その2 No.071



地下鉄本町駅

かつて江戸時代の大坂は三郷(北組250町、南組261町、天満組109町)あり、船場の中枢に位置する本町を境に北組と南組とに分かれていました。その北組のエリアを歩いてみましょう。

①北御堂

浄土真宗本願寺派で津村別院ともいいます。明応5年(1496)、本願寺第8代・蓮如上人が大坂・石山に御坊を建てて寺内町が形成され、大坂の町は大いに発展しましたが、織田信長との石山合戦(1570~80)によって退去。その後、慶長2年(1597)に現在地に移りました。明治元年(1868)の大坂遷都論の最中に、明治天皇が大坂に行幸して、その際は行在所になりましたが、結局、明治政府は東京への首都移転を決定し、大坂遷都論は消滅しました。

②創元社

明治25年(1892)に書店「矢部晴雲堂」として西区・新町で創業。大正14年(1925)に西区靱上通りに移転して出版部門「創元社」を創立しました。谷崎潤一郎の『春琴抄』や、わが国で初めてノーベル文学賞を受賞した川端康成の代表作『雪国』、織田作之助の『夫婦善哉』などを刊行して、大阪を代表する出版社となっています。

③北野家住宅

木造3階建の町家で国の登録有形文化財です。昭和20年(1945)の大坂空襲にも生き残り、米軍の撮影フィルムにも北野家住宅がぼつんとたたずむ姿が写って

いて、「奇跡の家」としてメディアに紹介されたこともあります。

④御霊神社

八十嶋祭(天皇の即位儀礼)の祭場として圓神祠が創祀されたのが神社の始まりといわれています。船場言葉の御寮人(ごりょんさん=商家の若奥様)と語呂が似ていることから「御霊(ごりょう)さん」と親しまれています。明治17年(1884)に「御霊文楽座」ができて船場商人の娯楽、社交や商談の場として繁盛しましたが、大正15年(1926)、火災によって焼失。現在は文楽座跡碑が建っています。



⑤美々卯

「うどんすき」発祥のお店です。堺で200年続いた老舗料亭「耳卯楼」を営む耳家の四男・薩摩平太郎氏が大正14年(1925)に開業しました。文豪・谷崎潤一郎も好んだといわれています。



⑥大阪ガスビルディング

昭和8年(1933)竣工。設計は建築家・安井武雄で、同氏の最高傑作とも呼ばれ、のちにそごう百貨店を設計する建築家・村野藤吾も「都市建築の美の極致」と絶賛しています。8階にあるガスビル食堂は昭和初期の大阪のモダニズムの雰囲気を漂わせていて人気です。

地下鉄・京阪淀屋橋駅

